



我がが

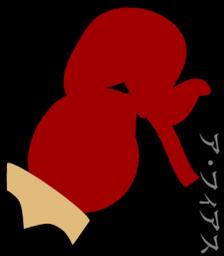
の玉

身籠りて

継承戦争秘録

ザ・キング・オブ・プレイザンツ

ア・フアスユ・プレイセツト・バイ・スルガW



SU06 我らが王の身籠りて

クレジット

著：駿河 GW (@surugaGWdesuyo)

編集：鮎方高明

表紙：アツメ (@2D6_7)

題字：ちかま (@chiikamall)

タイトル原案：ハロウ・ヒル

お約束の但し書き

このプレイセットは、ロールプレイング・ゲーム『フィアスコ』(Bully Pulpit Games) のアクセサリです。

『フィアスコ』について知りたい方は、もしくは他のプレイセットや資料に興味のある方は、harrowhill.rdy.jp をご参照ください。

もしプレイセットや『フィアスコ』関連コンテンツの作成に興味があるなら、協力できます。その際は、dunhere@harrowhill.rdy.jp (日本語) か info@bullypulpitgames.com (英語) までご連絡下さい。

This playset is copyright 2021 by Suruga GM. *Fiasco* is copyright 2009 by Jason Morningstar. All rights are reserved.

フォントは『たぬき油性マジック』『懐映体』『源ノ明朝』を使用している。またダイスフォントは Madirishman 製である。

注意

本プレイセットは、一種独特な用語群によって要素が構成されています。

言っていることの意味が分からない場合、ルールブック【我らが王の身籠りて】を購入して読んでみるとイメージがつくでしょう。

<https://harrowhill.rdy.jp/Games/theKingisDead>



背景

「敵と手を組み、友を裏切り、仇と恋をし、混乱に飛び込め」

バンテイヴの王アイヴァルド3世、ディルストーン家の大公にしてシーワード沿岸地域の統治者は、後継者を懐妊した。もはや惨事は避けられない。

君はバンテイヴの王位継承権を有する名家のいずれかに属す、武芸の心得ある若き公子か公女だ。迫り来る継承戦争の渦中に置かれ、自らの家が頂点を極めるのを目にするべく、戦い陰謀を巡らせ、競争相手と同盟を結び友を裏切り、敵と恋に落ち、危険・冒険・ロマンス・戦争に立ち向かうことを余儀なくされることを予感していたのかもしれない。

なぜなら、そのために生を受けたのだから。

だが、しかしどうだ？

蓋をあけてみれば、君たちが置かれたのは渦中は渦中でも混乱と混沌の大惨事の渦中であった。

人間関係について

あなたたちの PC は皆、以下の5つの名家の内のどれかを選択し、その名家の公子／公女となります。

- ★ いにしえの統治者 アンタイアー家
- ★ 王の一族 ディルストーン家
- ★ 忠実なる封臣 オーキ家
- ★ 外国勢力 リュネスト家
- ★ 王位奪還を目論む サンドリエル家

ゲーム開始前にお互いに話し合い、誰がどの名家の嫡子なのかを決めておきましょう。なお、各名家についての特徴については、ルールブック【我が王の身罷りて】購入して読んでみると、なお精細なイメージが得られるでしょう。

<https://harrowhill.rdy.jp/Games/theKingsisDead>

関係の結び方について

このプレイセットにおいては、「人間関係」の要素がオミットされています。その代わりとして、「興味をそそる資質」の要素を両隣のプレイヤーと構築してください。

そこにある【興味をそそる資質】は……

1 A

- (自由設定)な「公子/公女」×(自由設定)な「公子/公女」
- 信心深い「公子/公女」×实际的な「公子/公女」
- 用心深すぎる「公子/公女」×思慮深い「公子/公女」
- 見識が広い「公子/公女」×優雅な「公子/公女」
- 機転が利く「公子/公女」×学識豊かな「公子/公女」
- 音楽の才に秀でた「公子/公女」×威勢がよい「公子/公女」

2 B

- ハンサムな「公子/公女」×美しい「公子/公女」
- (自由設定)な「公子/公女」×(自由設定)な「公子/公女」
- 工夫に富む「公子/公女」×勇敢な「公子/公女」
- 忠実な「公子/公女」×戦闘に秀でる「公子/公女」
- 思いやりがある「公子/公女」×大胆な「公子/公女」
- 陽気な「公子/公女」×屈託がない「公子/公女」

3 C

- 礼儀正しい「公子/公女」×信心深い「公子/公女」
- ハンサムな「公子/公女」×忍耐強い「公子/公女」
- (自由設定)な「公子/公女」×(自由設定)な「公子/公女」
- 大胆な「公子/公女」×工夫に富む「公子/公女」
- 用心深過ぎる「公子/公女」×工夫に富む「公子/公女」
- 实际的な「公子/公女」×思慮深い「公子/公女」

4 D

- 信心深い「公子／公女」×陽気な「公子／公女」
- ◻ 美しい「公子／公女」×長身の「公子／公女」
- ◻◻ 精力的な「公子／公女」×考え過ぎる「公子／公女」
- ◻◻◻ (自由設定) な「公子／公女」×(自由設定) な「公子／公女」
- ◻◻◻◻ 戦闘に秀でる「公子／公女」×音楽の才に秀でた「公子／公女」
- ◻◻◻◻◻ 勇敢な「公子／公女」×陽気な「公子／公女」

5 E

- 精力的な「公子／公女」×忍耐強い「公子／公女」
- ◻ 屈託がない「公子／公女」×用心深すぎる「公子／公女」
- ◻◻ 寛大な「公子／公女」×威勢がよい「公子／公女」
- ◻◻◻ 機転が利く「公子／公女」×礼儀正しい公子×公女
- ◻◻◻◻ (自由設定) な「公子／公女」×(自由設定) な「公子／公女」
- ◻◻◻◻◻ 優雅な「公子／公女」×音楽の才がある「公子／公女」

6 F

- 勇敢な「公子／公女」×用心深すぎる「公子／公女」
- ◻ 忠実な「公子／公女」×実際のな「公子／公女」
- ◻◻ 精力的な「公子／公女」×忍耐強い「公子／公女」
- ◻◻◻ 威勢がよい「公子／公女」×長身の「公子／公女」
- ◻◻◻◻ 考えすぎる「公子／公女」×運動能力に優れる「公子／公女」
- ◻◻◻◻◻ (自由設定) な「公子／公女」×(自由設定) な「公子／公女」

それが……『懐妊醜聞秘録』

そこにある【動機】は……

1 勝ち取りたい

- ……王位継承権を
- ……この国の実権を
- ……アイヴァルド 3 世の寵愛を
- ……あの人の尊敬を
- ……家督を
- ……ものもない無欲なバカにはなれない

2 つきとめたい

- ……アイヴァルド 3 世が身籠ったという話の真偽を
- ……アイヴァルド 3 世が身籠ったという奇跡の原因
- ……身籠っているアイヴァルド 3 世の体の状態
- ……誰がアイヴァルド 3 世を身籠らせたか
- ……（任意の PC）も身籠らせることができるかどうか
- ……アイヴァルド 3 世が身籠ったのが自分の子供なのかどうか

3 壊してしまいたい

- ……この事件を利用して、現王政を
- ……他家の目論見を
- ……自家の計画を
- ……平和の象徴であるアイヴァルド 3 世を、その胎児ごと
- ……アイヴァルド 3 世の家庭を
- ……この国を

4 たすけたい

- ……お互いを
- ……スキャンダルの渦中にある王家を
- ……アイヴァルド 3 世の出産を
- ……片方の恋を
- ……現王政の継続を
- ……幼き世継ぎの存在の主張を

5 見届けたい

- ……アイヴァルド 3 世の出産を、直接
- ……この騒動の顛末を、巻き込まれない位置から
- ……A 家の勝利を
- ……A の戴冠式を
- ……アイヴァルド 3 世の長子の戴冠式を
- ……アイヴァルド 3 世の胎児の戴冠式を

6 逃げ出したい

- ……こんなワケのわからない状況から
- ……この国から。もうすぐ外国勢力の侵略が始まる
- ……因習に満ちた家から
- ……予定されている決闘から
- ……決して結ばれることのない 2 人の運命から
- ……修羅場から

それが……『懐妊醜聞秘録』

そこにある【場所】は……

1 アンタイアー家

- 神聖な戴冠石とその神殿の集まり
- ファーランにある盟約の間
- トルラールの石群
- ファーラニィ城
- ユーレ城
- マーチ湖の湖上要塞

2 デイルストーン家

- 武勇の庭園
- タッチャー通り
- ライズヴァーの街
- アリードホール城
- "夏宮殿"
- ゲールスティ

3 オーキ家

- ナインテイヴァー城
- トロウス
- 軍事学院
- アンブローデン城
- アッシュェンダロー
- コール城

4 リュネスト家

- ・ エストス海洋諸島の造船所
- ・血を流さぬレシーの神々を祀る木造柱の聖堂
- ・ナイフ港の船着き場
- ・カツオドリ諸島
- ・エンスターンの砦
- ・シアーク " 城 "

5 サンドリエイル家

- ・カーレイラ聖堂
- ・バレスティ
- ・旧領主館
- ・ホルセン砦
- ・蹂躪された村々
- ・無惨に打ち壊された城塞

6 その他

- ・ A 家が主催し B 家が主賓の舞踏会
- ・ A と B の弁論会
- ・ A と B が剣による決闘を行う場
- ・ A と B が久し振りに再会した地
- ・ A が主催し B が主賓の食事会
- ・ A が B を追求する試練裁判

それが……『懐妊醜聞秘録』

そこにある【過去】は……

1 陰謀と動員A

- A 家は B 家に血の呪いが降りかかるよう祈願する。
- 高地地方の丘で狩りをして水場で釣りするという伝統的な A 家の権利を、B 家は否定する。
- A 家は、B 家の船を海上で襲撃して損害をもたらす。
- A 家は、自らに忠誠を誓う第一勢力と、B 家の公子とを婚姻させる。
- A 家は、骨身を削って自分たちを守るよう、B 家に強く求める。
- A 家は、高齢の将軍と、B 家の年若い公女とを婚姻させる

2 陰謀と動員B

- A 家は、ディルストーン家の要請を受けて、B 家に対する戦争を開始する
- A 家は、B 家の有力な将軍を、当人の自宅で暗殺する
- A 家は、B 家の船を海上で襲撃して損害をもたらす
- A 家の高位司祭たちが、B 家の女性予言者たちを受け入れて師事する。
- A 家は、あまり重要ではない公子と、B 家の有力な公女とを婚姻させる。
- A 家は、B 家の高司祭を礼拝の最中に暗殺する。恐るべき暴挙だ。

3 因縁

- A 家と B 家は戦争を予定している
- A と B は過去に決闘をしたことがある
- 2 人は同じ人を愛してしまった
- A は B の罪を知っている
- A と B は両家の取り替え子である
- A は B に劣等感を抱いている

4 思い出

- 「あの日の貴方との舞踏はとても素敵だった」
- A 家と B 家は昵懇の仲であり、頻繁に食事会を開催している
- 昔、2人で王様にあるイタズラをした
- 2人は佳き幼馴染であり、久し振りに再会する
- 2人はディベートの好敵手
- 若い頃、若い心から結婚の約束をした

5 従属

- A は B 家の秘密を握っている
- A は B の子分である
- A は B 家の実権を掌握
- A はある裁判で B を訴え、そして敗れている
- A 家は B 家に資金援助を行っている
- 両家の代表は現王を崇拜している

6 秘密

- A は B に秘めた殺意を抱いている
- 両家が敵対しているにも関わらず、A と B は逢瀬を重ねている
- 両家は協力関係にあるが、A は裏切るつもりである
- A 家は B を王に取り立てるべく、両家は密約を結んでいる
- 両家は近い内（転落後）に開戦するが、A と B はそれを知らない
- A は B に秘めた恋心を抱いている

それが……『懐妊醜聞秘録』